

# きたすま

まず自分の目から丸太を取り除け（ルカ6・42）

No.224 (3月号)

2022年 2月 27日発行  
発行 カトリック北須磨教会  
〒654-0151  
神戸市須磨区北落合2-3-1  
発行人 高橋 聡  
編集 広報委員会

## 巻頭言

中川 明神父

四旬節は復活祭の準備期間で、灰の水曜日（今年は3月2日）に始まります。その日、灰が客員に塗られ、「あなたは灰であり、灰に帰って行くのです」と唱えられます。この「灰の式」で、いつも、死ぬべき自分の現実が、総ての出発点と思うのです。

不浄観見という仏教の修業は、「肉体に対する執着を断ち切るために、肉体の不浄を観想する」と説明されます。死体が腐乱し白骨になっていく過程を描いた絵を前に観想したり、墓地などで、実際に死体が腐乱していく様を見つめるそうです。

最近、自分の病や老いの現実を客観的に突き付けられる場面が増えました。定期的な血液検査の結果を聞く時はドキドキしますが、自分の肉体の衰えを客観的事実として突き付けられるからでしょう。また、運転免許証更新の際、高断者講習の案内が郵送されてきて、老いは事実だと思ひ知りました。

でも考えたら、血液検査も高断者講習も、不浄観見と同様、死ぬべき

人間の事実を見つめるように私たを誘うのであり、「灰の式」も同じ誘いで、これが復活祭を祝う準備の始まりなのです。死ぬべき人間が丁寧に生きるための指針が、ここにありたいと思います。



**栄光の賛歌（グロリア）(\*1)**

規定に従って、(\*2) 一同は栄光の賛歌（グロリア）を歌うかまたは唱える。

天には神に栄光、 地にはみ心にかなう人に平和。

**神なる主、天の王、全能の父なる神よ。**

わたしたちは主をほめ、主をたたえ、主を拝み、主をあがめ、

主の大いなる栄光のゆえに感謝をささげます。

主なる御ひとり子イエス・キリストよ、 神なる主、神の小羊、父のみ子よ、(\*3)

世の罪を取り除く主よ、いつくしみをわたしたちに。

世の罪を取り除く主よ、わたしたちの願いを聞き入れてください。

父の右に座しておられる主よ、いつくしみをわたしたちに。

ただひとり聖なるかた、すべてを越える唯一の主、イエス・キリストよ、

聖霊とともに父なる神の栄光のうちに。 アーメン。

**集会祈願**

司祭は手を合わせたまま言う。 祈りましょう。

一同は司祭とともにしばらく沈黙のうちに祈る。

続いて、司祭は手を広げて集会祈願を唱え、会衆は結びにはっきりと唱える。(\*4) 会衆 アーメン。

## ことばの典礼

**第一朗読(\*5)**

座る

朗読者は朗読台に行き(\*6)、第一朗読を行う。

**朗読の終わりを示すため、朗読者は手を合わせてはっきりと唱える。(\*7)**

朗読者 **神のみことば。**

一同 神に感謝。(\*8)

続いて、朗読者は聖書に一礼して席に戻る。一同は沈黙のうちに、神のことばを味わう。

**答唱詩編**

詩編唱者あるいは先唱者は詩編を歌うかまたは唱え、会衆は答唱する。

第二朗読が行われる場合、第一朗読と同じように行われる。

## 新しいミサの式次第解説(2)

北須磨教会典礼委員会

左の式次第は今年の待降節第一主日(2022.11.27)から使用される新しい式文です。

- 司式者と会衆の応答以外は斜体にして分かりやすくしました。
- 今回の変更箇所と、注意すべき点所を**ゴシック体**で示しています。
- 本文中の(\*○)と解説の(\*○)は対応するコメントを示します。

- \*1: 栄光の賛歌(グロリア)も他の賛歌と同じく、文語体から口語体になっています。
- \*2: 待降節と四旬節以外の主日、および祭日と祝日、特に盛大な祭儀の時に歌う(唱える)。栄光の賛歌を歌わないときは、集会祈願に進む。
- \*3: 聖書朗読等では御子を「おんこ」と読むよう統一されているが、ここでは「みこ」の読みを残すこととし「み子」とした。

- \*4: 集会祈願の結びの「アーメン」は会衆がはっきり唱える。

\*5: ことばの典礼における聖書朗読は、神の言葉を参加者に伝えるものです。朗読者は事前によく読みこなし、まず自分のものとするよう努めましょう。そして大きな声ではっきりと、参加者に届くように読みましょう。

\*6: 朗読者は祭壇の前で一礼し、内側から朗読台に立ち、軽く一礼後、はっきりと読む。

\*7: 朗読後は手を合わせて「神のみことば」とはっきりとなえる。

(これまでは侍者が「神に感謝」と唱えたりしていたが、朗読者に統一された)

\*8: 一同は「神に感謝」と唱え、朗読者は聖書に一礼して外側から降り、祭壇の前で一礼した後、自席に戻る。一同は沈黙のうちに神の言葉を味わう。

第2回はここまでです。続きは次回に。(文責 KH)

✠ 堅信式 ✠

2022年2月13日に北須磨教会において、酒井補佐司教様と高橋神父様の司式により、堅信式が行われました。コロナ禍以前は神戸西ブロック合同で行われていましたが、感染防止のため、この度は北須磨教会単独での開催でした。堅信式のために、2名の受堅者が高橋神父様とともに10回ほどの勉強をしました。堅信式当日は、ミサへの参加を自由参加とし、終了後は皆で酒井司教様を囲んで写真を撮るなど、久しぶりに皆さんの和気あいあいとした雰囲気を感じられた日曜日となりました。



おめと JUNIKUSUMASU  
ザックリット  
B M  
F R  
様様

お知らせ

典礼委員会

四旬節が始まります。

- ・3月2日 灰の水曜日 10:00～灰の式  
どなたでもご希望の方は参加できます。
- ・3月4日から毎金曜日の 13:30～14:00  
十字架の道行きを行います。どなたでも可
- ・黙想会、共同回心式はありません。  
ゆるしの秘跡ご希望の方は高橋・中川神父様まで。
- ・4月15日聖金曜日(主の受難)の式は  
15:00(午後 3:00)からになります。  
聖木曜日(14日)、復活徹夜祭(16日)は  
これまで通り 18時半からです。

評議会より

- ① 復活祭のミサの参加については、アンケートにて 16日(18:30)と17日(10時)の希望をお伺いした上で割り振ります。決定次第、お知らせします。
- ② シノドスのアンケートをレターケースに入れています。2月から3月にかけて高橋神父さまより説明があります4月17日までに回収箱に提出して下さい。

帰天されました

- 1月29日  
セシリア MK 様 (5地区)
- 2月13日  
ヴィルギリウス UN 様(4地区)  
永遠の安息と  
ご遺族の平安をお祈りいたします。

ミサローテーション

○印のある日に与っていただけます

主日	3月2日	3月6日	3月13日	3月20日	3月27日	4月3日
地区	灰の水曜日	四旬節第1	四旬節第2	四旬節第3	四旬節第4	四旬節第5
1地区	ご希望の方は参加可能		○			○
2地区					○	
3地区					○	
4地区			○			○
5地区					○	
6A地区				○		
6B・7地区			○			

編集後記

ロシアのウクライナへの侵攻のニュースを聞きながら編集作業。テレビからの爆音に思わず窓の外を見る。新型コロナウイルスの脅威、ウクライナでの戦争。ヨハネによる福音書(16:33)を読み返した。(KYT)

# マンスリースケジュール3月



日・曜日	2022	
3/1 火		
2 水	灰の水曜日 灰の式10:00～ ※どなたでも参加できます	
3 木		
4 金	十字架の道行き 13:30～14:00 ※どなたでも参加できます	主日の聖書を読む会14:00～
5 土		ロザリオの祈り 14:00～
6 日	四旬節第1主日 ミサ10:00～ 第4・6B・7地区	
7 月		
8 火	炊き出し 9:30～	
9 水		
10 木		
11 金	十字架の道行き 13:30～14:00 ※どなたでも参加できます	主日の聖書を読む会14:00～
12 土		ロザリオの祈り 14:00～
13 日	四旬節第2主日 ミサ10:00～ 第1・6A地区	
14 月		
15 火		
16 水		
17 木		
18 金	十字架の道行き 13:30～14:00 ※どなたでも参加できます	主日の聖書を読む会14:00～
19 土		ロザリオの祈り 14:00～
20 日	四旬節第3主日 ミサ10:00～ 第3・5地区	
21 月		
22 火		
23 水		
24 木		
25 金	十字架の道行き 13:30～14:00 ※どなたでも参加できます	主日の聖書を読む会14:00～
26 土		ロザリオの祈り 14:00～
27 日	四旬節第4主日 ミサ10:00～ 第2・4地区	
28 月		
29 火		
30 水		
31 木		
4/1 金	十字架の道行き 13:30～14:00 ※どなたでも参加できます	主日の聖書を読む会14:00～
2 土		ロザリオの祈り 14:00～
3 日	四旬節第5主日 ミサ10:00～ 第1・6B・7地区	

注) 大阪教区からの新しい通達があるまでは、上記ローテーションでのミサ参加となります。

カトリック北須磨教会ホームページ <http://cathkitasuma.web.fc2.com>

葬儀用電話の運用は終了しました。緊急時は高橋神父(090-6329-6709)にご連絡く

◇ミサに与る時は、マスクを着用し、手指の消毒に心がけてください。

◇『聖書と典礼』はご自分の分を持参してください。

